

橋爪彦七

はしづめ
ひしち

小説家。

明治二十九年八月一日(重縣生れ(二六六一))。

本名増達一。

宇治山田中學校中退。尾崎市書記。

『婦人毎日新聞』。

『北海道日新聞』各主幹、文映社社長など。大正八年雜誌『講談俱樂部』

部』の懸賞小説を大選。

著書

『長篇
實話』

『人肉變交響所』

(昭和九年八月二十八日豐江堂)

『葉隱名

作小説集

(附少年葉隱)

『合著・須柄晴翁、昭和十六年九月二十日

教材社)、『郷土物語・關東地方の部』

(昭和十六年十一月二十五日

受験研究社増進堂)、『少年國民のよし文庫』

(『實説赤穂義士傳』(昭

和十七年)二月十日東和出版社)、

『名作左京捕物帖』(昭和十七年一

月二十八日大阪・新正堂)、

『傑作大衆小説集』(内題「傑作大衆讀

物集」合著・河井武志編、昭和十七年二月二十日東洋堂)、

『名讀切小説集』(昭和十七年四月十九日現實處)、

『葉隱忠義』(内題「葉隱れ忠義」(昭和十七年七月五日六合書院)、

『讀切傑作自撰集』(昭和十八年一月二十日讀物又藝社。再刊・二月十日慰問文庫刊行會)、

『淨達政宗』(昭和十八年二月十日現實處)、

『土魂』(長野義盛傳)(昭和十八年二月十日鬼澤書店)、

『富士百捕物帖』(昭和二十一年十

二月一日の出書房)等。